

会議の名称	平成22年度第1回鳥海地域協議会
開催日時	平成22年6月2日(水) 午後6時～
開催場所	由利本荘市鳥海総合支所 講堂
出席者氏名	地域協議会 名簿のとおり
欠席者氏名	〃
(会議次第) 1. 開 会 2. 会 長 挨 拶 3. 協 議 議事進行：会 長 ・ 過疎地域自立促進計画について（企画調整課） ・ 最終処分場延命化にかかる埋立て配分の見直しについて（生活環境課） ・ 地域づくり推進事業について ・ その他 4. 閉 会	
会議の経過	別紙のとおり

◆地域協議会 名簿

(委員20名)

議会議員、本庁及び総合支所

区 分	氏 名	区 分	氏 名
地域協議会委員	佐藤 久幸	【市議会議員】	高橋 和子
地域協議会委員	佐藤 重一		佐藤 譲哥
地域協議会委員	眞坂 孝衛	【本庁】	
地域協議会委員	柴田 恭一	企画調整部次長兼企画調整課長	石川 裕
地域協議会委員	佐藤 勝藏	企画調整部地域振興課長	榊 豊昭
地域協議会委員	佐藤 敬助	企画調整課主席参事兼課長補佐	佐藤 光昭
地域協議会委員	佐藤 一太郎	市民福祉部次長兼生活環境課長	眞坂 誠一
地域協議会委員	鈴木 充	市民福祉部清掃事業所長	村井 恭輔
地域協議会委員	周防 彦宗	市民福祉部清掃事業所参事兼専門技術員	伊藤 成一
地域協議会委員	佐藤 明美		
地域協議会委員	三浦 俊雄	【総合支所】	
地域協議会委員	松田 訓	総合支所長	土田 修
地域協議会委員	池田 由身	振興課長	佐藤 秀孝
地域協議会委員	佐藤 貴子	主幹兼産業課長	佐藤 傳一
地域協議会委員	高橋 美幸	市民福祉課長	佐藤 恵一
地域協議会委員	三森 宏美	建設課長兼水道事務所長	佐藤 幸生
地域協議会委員	高橋 馨	教育学習課長	佐藤 寛栄
地域協議会委員	鈴木 誠	鳥寿苑施設長	佐藤 利和
地域協議会委員	眞坂 好喜	診療所事務長	村上 一弥
地域協議会委員	藤山 信夫		
		【事務局】	
		振興課	菊地 健
			池田 清太
			伊藤 健

(会議の経過)	
第1回 鳥海地域協議会	
平成22年 6 月 2 日 (水) 午後6時 開会	
菊地振興課 参事	【開 会】 はじめに松田会長より挨拶を申し上げます。
会 長	22年度の第1回地域協議会、6時からの開会ということで、皆さんにはお疲れのところでございますけれども、おおかた出席いただき、心から安堵しております。今回は土田総合支所長を迎えての最初の地域協議会ですので、みなさんから活発なご意見を出していただきながら議題に沿って進めたいと思います。皆さんに通知した案内には「地域づくり推進事業」だけでございましたけれども、本日は本庁の企画調整課あるいは生活環境課のみなさんがみえておりますので、そのことも協議内容に含めて進めさせていただきます。今日は皆さんに地域づくりの方向がまとまりますよう、活発に討論していただくということでよろしくお願いします。
菊地振興課 参事	協議にはいります。 協議の議長は、地域自治区の設置に関する条例第9条第4項の規定により会長が務めます。
議 長	【協 議】 「過疎地域自立促進計画について」及び「最終処分場延命化にかかる埋立て配分の見直し」について、本庁の担当課よりご説明いただき、質疑応答のあと、退席いただきましてから「地域づくり推進事業」をご討議していただきたいと思います。 それでは、「過疎地域自立促進計画について」担当課より説明をお願いします。
企画調整課	説 明
議 長	次に「最終処分場延命化にかかる埋立て配分の見直し」について、担当課より説明願います。
伊藤市民福祉部清掃事業所長	説 明
議 長	「過疎地域自立促進計画」及び「最終処分場延命」について説明いただきましたが、質問等がありましたらお願いします。
A委員	最終処分場延命について、矢島鳥海最終処分場は今まで通りであれば今後114年埋立てが可能であるが、調整後、本荘由利広域埋立地では平成30年度まで、矢島鳥海最終処分場は平成40年度までと、最終年度に10年のひらきがある。由利本荘市が一本化となって有効活用することは当然のことと思うが、なぜ10年間の差をつけたのか。また、今後この埋立地が満杯になった場合、どのような計画をもっているのか聞かせていただきたい。
伊藤市民福祉部次長兼生活環境課長	10年のひらきがあるということですが、平成30年というのが一つのキーになるということで、由利本荘市の総合発展計画の中で焼却施設については、平成25年から30年に稼働にむけ計画をしている。また県では焼却施設を由利本荘市にかほ市内一つに集約し、平成30年から稼働すると計画がある。最終処分場についても、同時に計画を立てていきたいので、今ある施設を含め、総合的に対応をしていきたいと考えている。そういう意味合いでの平成30年ということです。

議 長	焼却灰は６月頃運搬することになっているが、まだ案なのか、もう決まってしまったのか伺いたい。
伊藤市民福祉部次長兼生活環境課長	行政協力員会議、地域協議会で説明申し上げるという段階を踏みながら、最終的には議会の方へもっていきますので、今のところ「案」という考えです。
議 長	各会議で説明し、その状況を議会で報告してそれで終わるということか。
伊藤市民福祉部次長兼生活環境課長	最終的な判断ということであります。
B 委員	今伺った「案」について、３年後には満杯になるのが分かっていたのであれば、それにどう対処するかという計画があったのではないか。それを伺いたい。
伊藤市民福祉部次長兼生活環境課長	最終処分場については焼却施設との関連があり、合併当時、早い時期に計画していたが、財政的な問題があり、それに伴って最終処分場も延びてしまった。現計画では平成３０年稼働を目標に焼却施設も整備するし、最終処分場についても整備・完成という考え方なので、広域埋立地も平成２７年に満杯になるが、平成３０年まで延命したいということで計画させていただいた。
C 委員	合併により矢島鳥海最終処分場を使う事自体可能だとは思いますが、使う事によって矢島鳥海処分場は平成４０年で終わり、広域埋立地の方は３年間延命するだけです。県は、にかほ市と一つの最終処分場に集約するというが、将来を見据えた計画ではないような気がしてならない。経費の節減ということも、毎日ダンプで運ぶこと自体が余計な経費がかかると思う。延命よりも早期に最終処分場を建設した方がよさそうな気がする。
D 委員	過疎法について、旧町の時は適用が笹子か直根だった気がするが、計画を見れば、本荘や矢島が多く、亀田も掲載されている。合併したから過疎法が総体的に適用になるのか。
石川企画調整次長兼企画調整課長	合併して由利本荘市全域が過疎法の対象地域になるということです。事業計画はできるだけ色々な事業を掲載していきたいと考えているが、掲載している事業全てを２３年度に実行するかというと、予算的な枠もあり、その中で優先順位をつけながらの実施になると思う。また、この計画書に掲載していない事業を新たに実施したい場合、計画書を再度議会にかけ変更しなければならないので、計画書には事業名をできるだけ幅広く盛り込みたいと考えている。

E 委員	最終処分場の延命の件ですが、３年間延長したところでその後どうなるのか。その場しのぎの計画としか思えない。新たな焼却施設や最終処分場を将来の安心・安全のために計画を立て、地域住民が理解できる施設を建設してほしい。
議 長	この問題は広域ですから、にかほ市との関連もあるが、早く計画書を造り報告してほしいというのが委員みなさんの声です。私から申し上げたいのは、今日鳥海地域地域協議会で説明したから鳥海から了解を得たという解釈ではうまくないということです。
石川企画調整次長兼企画調整課長	広域の関係でにかほ市との関係があり、最終処分場についても、にかほ市とも十分協議しながら対応していきたいと思う。いかに地元の皆様の了解を得るかを再度検討して、改めてお願いという形になるかと思う。
議 長	慎重に扱っていただきたい。過疎法については振興課を通じ、この会議で協議するかと思う。最終処分場についても改めてお願いということになるかと思うが、今日はこれでよろしいでしょうか。
委 員	異議なし 本庁職員退席
議 長	地域づくり推進事業について事務局より提案書について説明をお願いします。
菊地振興課参事	２月８日開催しました第４回地域協議会で専門部会により選考してみてはという案により、２月１６日と３月２日の２日間行いました。専門部会では、合体により実施できないかということで、大まかな補助金額の仕分けを行い、翌３月３日に予算案として企画調整課へ送付し、３月１９日に議決を得ております。 ３月２６日第５回地域協議会においては、３つの案を合体しての実施は不可能ではないかとの意見もありました。そして５月７日、会長、副会長、総合支所長、振興課長、産業課参事が集まりまして、地域づくり推進事業の今年度の実施方針を相談しております。 一覧表１０番直根小学校の活用と交流支援事業へ２０万円増額しております。理由は双方向交流事業として、昨年の夏、東京都葛飾区西小菅小学校との交流事業において、直根小学校へ同小児童等を招きまして、餅つきや釣りキチ三平を撮影した法体の滝を案内するなど２泊３日で交流しております。今年１月には逆に直根小学校が西小菅小学校を訪れ、相撲部屋等を見学したりして交流しております。 今年も、西小菅小学校を招いて交流事業を行いたいとのことで、「法体の滝紅葉まつり」「観光案内整備事業」からそれぞれ１０万円手当して直根小学校の活用と交流支援事業へ２０万円増額し、４０万円としております。

議 長	今日までの経緯を述べていただいたが、事業主体も新たに決定し、今年度は資料にある選定事業一覧に沿って事業を実施したいと思うが、意見等もあると思いますのでよろしくお願いします。
D 委員	私が関係しているところを説明したいと思う。伝統行事の継承による地域興し事業というのは最初の案としては、笹子町内会ほかということになっており、今、役員会等やりながら、今そのあたりどうするかという事で決めていきたいと思っている。9番は笹子土地改良区が事業主体となっているが、土地改良区の詳細も得なければいけないというので今月中にはつめていきたいと思うので了解していただければと思います。
議 長	それで1番と9番については内々に進めて、今すぐやるという問題ではないので、うまくまとめていただきたいと思います。
F 委員	3月の会議の際に私どもの事業の関係で10万円ぐらいアップ出来ないかという話を申し上げました。最終的な額は20万円ではありますが、20万円で何ができるのかということで苦労しました。事業の中身はこみとしたものになるわけなんです、それでも多くの人々が参加していただくという観点から20万円の枠の中で設定しました。その中で会場費について、私どもは紫水館をお願いしていますが、ここに若干会場費が伴うということでもあります。私どもの事業の内訳からいきまして、営利を目的としておりませんし、あくまでも市民に対しての大サービスということから会場費を無料にお願いできないものか。それから当日は日曜日になります。イベントは土日に行う事が多いですが、バス等がなければ直根方面の方が不便だと思います。したがって振興課の方をお願いしたいのはバスを出して頂けないかと、この2点をお願いしたいと思ってます。20万円についてはありがとうございました。バスと会場使用料について回答願います。
議 長	会場費については紫水館を無料にというのは市の条例上どうなのか、この中で8番の方で若干余裕がでてきたので、その辺のところは後で内容を確認しながら調整していきたい。ところで開催日は決まっているのか。
F 委員	開催日は産業文化祭より1週間前の10月24日（日）に設定しております。今日第1回目の会議が終わったわけですが、今日の会議で決定されたものと判断してもいいのか。
議 長	はい、そうです。最終的に配分を決定するということで、若干余裕が出てきたところ、残額が出たところは後で調整したい。
F 委員	ありがとうございます。バスの回答をお願いします。

菊地振興課 参事	バスについては使用可能です。
佐藤教育学 習課長	各地域の施設使用料の見直しということで協議中で色々と検討しており、今のところ回答出来ない。
議 長	事業主体からの説明でしたが、質問がありましたらどうぞ。
G委員	事業が終わった後に、例えばお客さんが何人来て経費がどれくらいかが我々が解るようにきちんと説明ができるか。
議 長	事業実績を出すことになっているので、明確にみなさんに解るようにでてくる。
G委員	そうすれば一般市民にも分かるようにでてきますか。
議 長	内容的には分かると思うが、一般市民に対して一つ一つ報告ということにはなっていない。
G委員	鳥海地域ではこういう事をやりますと、鳥海地域住民に知らせる手段は何かあるか。
菊地振興課 参事	今のところありませんが、地域づくり推進ミニ広報等をこちらで作成し、行政協力員等をお願いすることは出来ます。
議 長	発行する予定はあるのか。これからか。
菊地振興課 参事	これからです。全戸配布となればこちらで作成します。
議 長	鳥海地域住民に知らせるためには、鳥海地域限定のミニ広報という形で振興課の方で準備してもらう方法をとったらいかがでしょうか。
委 員	賛 成
議 長	市長も地域づくり推進事業をやるんだと色々なところで話しておりますし、一覧表でもいいからお知らせした方がよいと思う。周知してもらうことで、関心をもってもらう。これは単年度で終わらないで少なくとも3年は続くだろうということですから、市民の皆さんにもぜひ関心をもってもらわなければいけないと思います。

菊地振興課 参事	ミニ広報を発行する時期はいつ頃がいいか。
議 長	7月の頭で願います。 申し合わせ事項的に皆さんにお願いしたいわけだが、11の事業名があります。これに直接・間接的に関わっている方もいるが、20名の委員のみなさんには1つか2つ、どれかこれに参画して、いろいろな事業の内部の人間として頑張ってもらい、おおいに盛り上げていただきたいということをお願いしたいわけですけどもいかがなものか。
A委員	大変大切なことだと思いますし、地域協議会の皆さんはもちろんでありますが、ここにお集まりの職員の皆さんにも是非ご協力をお願いしたいと思います。
佐藤産業課 長	1番につきましては6月6日（日）に新緑まつりが実施されるので、今日ご出席の皆様全員の参加をお願いしたい。
議 長	いずれ所管のほうで音頭をとりながら、この後うまく進めていってほしいとお願いしたい。
佐藤産業課 長	行政が主導でやらなければならないものでないと思います。
議 長	行政主導でなく何とかまとめ役に参加してもらいたいという事です。
議 長	まだ時間もありますから話し合ってみてください。また、このことで特別意見がなければこういった感じで走るということでよろしいでしょうか。
委 員	異議なし
議 長	今日は榊課長さんも来ておりますので、ほかの7つの地域のことも含め、お話を聞きたいなと思っておりますのでよろしくお願いします。
榊地域振興 課長	私の方から状況の報告をさせていただきます。この事業につきましては昨年の秋頃にも急遽地域協議会のみなさんに協議頂いた事業でありますけども、昨年は地域づくりに関するものであればなんでもよい、そしていくつでも出していただいてその中から地域協議会のみなさんが選定する、そのような形で進められた訳です。みなさん地域の代表の方でございますから、実施する団体の内容をつめた提案ではないものが他の地域もあるが、提案者と行政側の認識の違いがあったように感じている。委員の皆さん個人個人で提案して、実施主体となる団体とは後で相談すればいいと、そういうやり方になると実施できない事業が出てくるように思いました。ま

	た、事業費につきましても例えば５０万円かかる、補助金がほしい、そういう風な事業を提案したものに対して各専門部会などで予算を割り振りしてその事業には２０万円つけましょう、１５万円つけましょうと、やろうとしたときにやれなくなるというような問題がでてくる。今、各地域では７～２１の事業があり、全部で９２あります。その中で２０事業ぐらいが今進められている状況です。この地域づくり推進事業は今後も継続して行く予定で、ぜひ２３年度の取り組みにあたりましてはさらに地域の活力につながる取り組みになるように、大事な事は地域のみなさんのアイディアが反映されるような事業を選定すべきだと思います。また、選定の方法等につきましても今一度再検討しなければならないと思う。意欲のある団体の方々が財政的に厳しいために実施できないでいる場合もあると思いますし、そういう方々の汲み上げ等についても地域協議会のみなさんにリードしていただければよろしいのではないかと思います。
議 長	広く市民の声を聞いてということですが、これは私どもが聞いて歩くことは出来ませんので委員のみなさんから出されたことを中心に決めたもの、これをミニ広報でみなさんに教えて頂ければ、多様なアイディアが出てくると思いますから、それを受け入れながら２３年度の参考にして考えていきたい。とりあえず２２年度をやっていくしかない。
A 委員	この地域づくり推進事業については、最初から私も分かりにくいとお話をしたんですが、それぞれの旧町地域で事業を推進しておりますので、実績も出てくると思います。お願いですが、地域の活性化ということについては共通して言えるわけですが、今回の分かりにくい部分を今一度整理して、また実績がでた段階でそれを検証し、この地域協議会にこういう事業には活性化につながったという事で、また新たに２３年度の事業にむかっていくというようなスタイルをとってほしいと思います。スタート地点でもうちょっと整理して説明をしっかりと頂ければもうちょっとわかりやすかったと思いますので、来年こそは統一した形でご指導をいただきたいと思います。
議 長	市の広報で２２年度は各地域３００万円で、こういう事業をやりますから市民のみなさんアイデア出してくださいという事を出して、そして地域協議会に諮らばいいけども、いきなり地域協議会に諮ってですから分かりにくいわけです。２３年度については、そうしたところをうまく進めるために２２年度末には合評する会、評価する会をもちたいと思っております。 それでは地域づくり推進事業につきましては委員の皆さんが関わり合いながら、市民に喜ばれるような活性化につながるようなアイディアを出して行きたいと思います。 また各課長より連絡事項がありましたらお願いします。
佐藤振興課	振興課の佐藤でございます。振興課においてはこれまで市民課が担当しておりま

長	した消防防災事務が加わりました。7月4日に鳥海支団の代表選考会がございます。なお、由利本荘市の消防訓練大会は7月18日と決まっておりますので、それに向けて各分団が頑張っていただけのもと思っています。消防関係につきましては、繰越事業といたしまして、消火栓の更新工事が15カ所、ホースの乾燥柱が3カ所、ポンプ格納庫の排水溝設置工事が1カ所というふうに順次発注予定となっております。振興課には税務班もございまして、5月の行政協力員会議に際しましては、収納率が86.7%という数字をお示しいたしましたが、その後電話連絡をしましたところ約1.1ポイント上がり、現在、87.7%という収納率でございます。収納率も集落別にみますと100%のところもございますが、最低のところは55%のところもございます。21年度の未納額が4,500万円、合併前からの滞納も合わせますと、約1億2000万円と、鳥海地域は旧1市7町の最低線を歩いているというような状況でもございまして、私もその事実を知らされて驚いているところでございます。この後税金の滞納につきましては特に金額のかさばる方につきましては、税の収納先が県の滞納整理機構というところに行くことになります。そうなりますと強制換価という事態にもなりかねませんので、そういう形については、あらかじめ通知を申し上げるというようなことでございますので、引き続き皆様におかれましては啓発方協力をお願いいたします。
菊地振興課参事	7月11日日曜日に第22回参議院議員通常選挙の執行予定となっております。公示後においてポスターの掲示が始まります。ポスターの掲示場は前回の衆議院議員選挙と同じ56カ所でございます。期日前投票及び不在者投票は6月25日開始予定です。市内各総合支所や附属会館、本荘のショッピングセンターでは6月25日から期日前投票ができます。直根・笹子の各出張所では7月5日（月）から期日前投票が出来る予定になっております。期日前投票は家族、近所の方に周知していただければ幸いですのでよろしくお願いします。ただし、日にちを申しましたがあくまで予定でございますので、よろしくお願いします。
佐藤教育学習課長	公民館からですが、恒例の市民運動会。これまで毎年7月の第1日曜日でございましたが、今年は6月27日（日）に開催するということで計画しております。このことにつきましては、昨日今日明日と地域・地区ごとに打合会をしまして各地域の皆様に周知しておりますが、皆様からも地域住民に周知していただきますようご協力をお願いいたします。
佐藤振興課長	追加です。峠サミットの関係で作られた「峠の湯巡りマップ」です。こういった関係で繋がりを深めていこうという意図がございますが、今年の峠サミットは山形県最上町で10月31日に開催する予定です。その際はこちらの産業文化祭もありますが、ご参加のほどよろしくお願いします。
議長	この4月から鳥海総合支所長としておいでくださいました土田さんから総括も含めてお願いします。

土田総合支
所長

委員のみなさんには時間を押してのご協議、本当にありがとうございました。

私も由利地域協議会の委員のみなさんとは3年間お付き合いをさせていただきました。特にこの地域づくり推進事業の関係につきましては由利の協議会でも準備段階からとにかく地域全体関わるものにしようではないかというようなことで、地域の関係団体のみなさんと連絡を取り合いながらさらに討議を重ねながら事業決定がなされたものでした。この事業につきましては、地域間でもそれぞれの事業が注目されています。委員の皆さんのお力添えを頂きながら地域に喜ばれる事業になってほしいと願っておりますので、今後ともご協力のほど宜しくお願い致します。

(議長職を解任)

菊地振興課
参事

これをもちまして第1回鳥海地域協議会を終了します。